

令和8年度

全国知的障害関係施設長等会議

開催要綱

テーマ

新たな時代の障害福祉を目指して

——令和9年度報酬改定を未来につながる大きな一歩とするために——

会期

2026年7月9日(木)～10日(金)

会場

東京国際フォーラム ホールA他

※対面集合のみの開催となります。



新たな時代の障害福祉を目指して

——令和9年度報酬改定を未来につなげる大きな一歩とするために——

物価高や賃金格差がますます広がるなか、令和8年度期中改定では応急的な措置が講じられましたが、その内容からは障害福祉関係予算の確保が厳しくなっていることがうかがえます。

一方で、障害者総合支援法の基本理念である「可能な限りその身近な場所において必要な日常生活又は社会生活を営むための支援を受けられることにより社会参加の機会が確保される」「どこで誰と生活するかについての選択の機会が確保され、地域社会において他の人々と共生することを妨げられない」の実現に向けた具体的な施策や現場での実践は着実に前進しています。

このような状況の中、令和9年度報酬改定に向けてどのように対応すべきなのか。障害のある人の尊厳を守り、希望に基づく生活を実現し、安心・安全で安定的な障害福祉サービスの提供を持続するための方策を探る機会といたします。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。



主催

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会

後援(予定)

厚生労働省、文部科学省、こども家庭庁

(公社)全国肢体不自由児者父母の会連合会、(一社)全国児童発達支援協議会、(社福)全国社会福祉協議会、全国社会就労センター協議会、(社福)全国重症心身障害児(者)を守る会、(公社)全国脊髄損傷者連合会、(特非)全国地域生活支援ネットワーク、(一社)全国知的障害者施設家族会連合会、(一社)全国手をつなぐ育成会連合会、障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会、(一社)日本自閉症協会、(公社)日本重症心身障害福祉協会、(特非)日本障害者協議会、(公社)日本精神科病院協会、(特非)日本相談支援専門員協会、(一社)日本発達障害ネットワーク、(公社)日本発達障害連盟、(一社)日本自閉症支援者協会

【略称】社福：社会福祉法人、公社：公益社団法人、一社：一般社団法人、特非：特定非営利活動法人

会期

2026年7月9日(木)～10日(金)

※対面集合のみの開催となります。

会場

東京国際フォーラム ホールA他

(東京都千代田区丸の内3-5-1)

参加対象

1. 障害福祉施設・事業所の長
2. 障害福祉施設・事業所の中堅幹部職員
3. 社会福祉法人等役員
4. その他

参加費(税込)

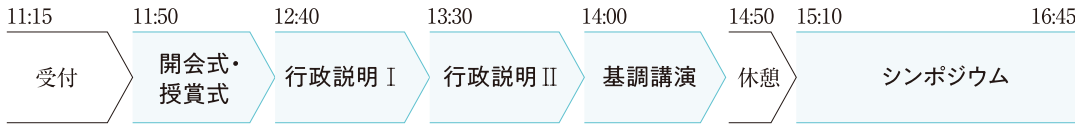
会員：25,000円／一般：38,000円

※会議当日に会場受付にて資料を配布します(欠席者には後日送付)

定員

2,500名

7/9 木 全体会



プログラム

11:15	受付	14:50	休憩
11:50	開会式 授賞式	15:10	シンポジウム 「新たな時代の障害福祉を目指して」 ——令和9年度報酬改定を未来につながる大きな一歩とするために—— シンポジスト 佐々木桃子 一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会 叶 義文 全国社会就労センター協議会 樋口幸雄 日本知的障害者福祉協会 助言者 野澤和弘 植草学園大学 副学長 進行 平野方紹 元 立教大学コミュニティ福祉学部 教授
12:40	行政説明Ⅰ 大竹雄二 厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課 課長	16:45	
13:30	行政説明Ⅱ 今泉 愛 こども家庭庁支援局 障害児支援課 課長		
14:00	基調講演 「新たな時代の障害福祉を目指して」(仮題) ——令和9年度報酬改定を未来につながる大きな一歩とするために—— 野澤和弘 植草学園大学 副学長		

(敬称略)

7/10 金 分科会 4分科会



※各分科会のプログラムをご確認ください。

分科会テーマ

- 第1分科会** 障がいのある人の生活を支える居住支援を目指して
——障がい者支援施設とグループホームの役割——
- 第2分科会** 自分らしい暮らしを描く日中支援の展望
——人生を彩る活動と就労の支援——
- 第3分科会** 2040年を見据えたサービス提供体制の在り方
——人が集まり、育ち、ともに地域を創る。持続可能な福祉の未来図——
- 第4分科会** 障害児支援の新たな展望
——障害のある子どもと家族がしっかりと尊重される支援・社会の在り方とは——

第1 分科会

障がいのある人の生活を支える居住支援を目指して ——障がい者支援施設とグループホームの役割——

障害のある人にとってのより良い居住支援とはなにか。地域生活における障害者支援施設やグループホームの在り方等について確認し、障害者権利条約に謳われている「いわゆる施設性」の最小化や地域生活への移行について考えていきます。どこで暮らしていてもその人らしい暮らしとなるような支援の在り方とはどのようなものか。また、施設・事業所が地域の中でどのような役割を果たしていくべきかについても焦点を当て、共に議論を深めます。

9:00	9:30	11:00	12:15	13:15	15:00
受付	講演1	講演2	昼休憩	シンポジウム	
プログラム					
9:30	講演1 「障がいのある人の生活に寄り添う支援」(仮題) 橘 文也 元日本知的障害者福祉協会 会長／ 北海道・社会福祉法人栗山ゆりの会 常務理事			13:15	シンポジウム 障がいのある人の生活を支える居住支援を目指して ——障害者支援施設とグループホームの役割—— シンポジスト 一丸善樹 相談支援部会／広島県・太田川学園 障害者相談支援事業所リガーレ 施設長 橋口磨理子 地域支援部会／ 愛知県・アスパラトーズ 管理者 佐久間 智 障害者支援施設部会／ 千葉県・社会福祉法人野栄福祉会 理事長 助言者 手嶋雅史 椛山女学園大学人間関係学部 教授 進行 榎本博文 障害者支援施設部会／ 愛知県・社会福祉法人ひまわり福祉会 常務理事 (敬称略)
11:00	講演2 「障がいのある人の生活を支える居住支援」 手嶋雅史 椛山女学園大学人間関係学部 教授				
12:15	昼休憩			15:00	

第2 分科会

自分らしい暮らしを描く日中支援の展望 ——人生を彩る活動と就労の支援——

障害の状態にかかわらず、一人ひとりの「暮らしの質」は、夜間の暮らしの場と昼間の過ごし方の双方が充実してこそ確保されます。支援の根幹となる利用者の意思決定支援を基盤に、日中支援(活動・就労)の本質を再考します。単に日中を過ごす場を提供し支援するだけでなく、「どのように過ごしたいか」「どのように働きたいか」といった本人の選択を尊重した支援の実践や、地域との連携を通じて、誰もが地域社会の一員として充実した活動や就労の機会を享受できる仕組みづくりについて展望します。

9:00	9:30	10:30	11:00	11:30	12:30	15:00
受付	基調講演	課題提起Ⅰ (活動)	課題提起Ⅱ (働くこと)	昼休憩	シンポジウム	
プログラム						
9:30	基調講演 「障害のある人の希望に基づく活動と就労の支援の充実に向けて」(仮題) 大村美保 筑波大学人間系 助教				12:30	シンポジウム 「自分らしい暮らしを描く日中支援の展望」 実践発表 山口 収 宮城県・社会福祉法人つどいの家 仙台つどいの家 施設長 涉 秀之 島根県・社会福祉法人いわみ福祉会 ワークくわの木金城第1事業所・第2事業所 管理者 佐藤資子 東京都・社会福祉法人武蔵野千川福祉会 チャレンジャー 管理者 助言者 大村美保 筑波大学人間系 助教 森下浩明 日中活動支援部会／ 神奈川県・社会福祉法人みなと舎 理事長 進行・助言者 志賀正幸 生産活動・就労支援部会／ 長崎県・社会福祉法人つかさ会 理事長 (敬称略)
10:30	課題提起Ⅰ 「活動の充実に向けた課題と展望」 発表者 森下浩明 日中活動支援部会／ 神奈川県・社会福祉法人みなと舎 理事長					
11:00	課題提起Ⅱ 「働くことへの充実に向けた課題と展望」 発表者 志賀正幸 生産活動・就労支援部会／ 長崎県・社会福祉法人つかさ会 理事長					
11:30	昼休憩				15:00	

第3

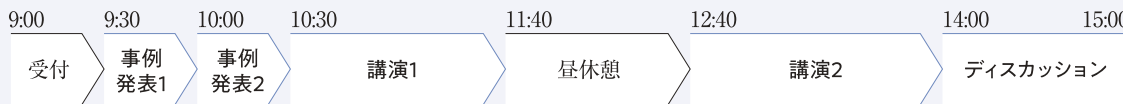
分科会

2040年を見据えたサービス提供体制の在り方

——人が集まり、育ち、ともに地域を創る。持続可能な福祉の未来図——

高齢化と人口減少のスピードが加速する中、職員の確保は喫緊の課題となっています。良質な障害福祉サービスの提供を持続するためには、良質な職員の確保・育成・定着が基本となります。若者や他業種から選ばれる「魅力ある事業所」となるためには何が必要か、そのヒントを探ります。

また、2040年に向けて、地域の実情に応じた効果的・効率的なサービス提供体制の構築と、職員が安心して働き、利用者とともに地域で活躍できる社会を目指す中で社会福祉法人に求められる役割は何かを考えます。会員法人が障害福祉で培った専門性を地域の資産として活かし、法人の持続可能性を高めるための方策等を展望します。



プログラム

9:30	事例発表1 豊村 英 沖縄県・社会福祉法人ニライカナイ 理事長
10:00	事例発表2 岡本松信 長崎県・相談支援事業所すだち 管理者
10:30	講演1 「令和6年度報酬改定の分析と今後の課題」 緒方武虎 独立行政法人福祉医療機構経営サポートセンター リサーチグループ リーダー
11:40	昼休憩
12:40	講演2 「民間参入に伴うあるべき障害福祉の姿」(仮題) 松原由美 早稲田大学人間科学学術院 教授

14:00	ディスカッション 2040年を見据えたサービス提供体制の在り方 ——人が集まり、育ち、ともに地域を創る。持続可能な福祉の未来図—— パネリスト 豊村 英 沖縄県・社会福祉法人ニライカナイ 理事長 岡本松信 長崎県・相談支援事業所すだち 管理者 助言者 松原由美 早稲田大学人間科学学術院 教授 進行 武元典雅 社会福祉法人御陽会 理事長
15:00	

(敬称略)

第4

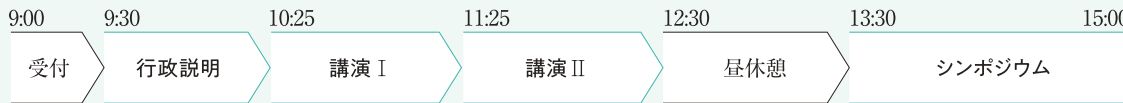
分科会

障害児支援の新たな展望

——障害のある子どもと家族がしっかりと尊重される支援・社会の在り方とは——

共生社会の実現に向け、保育所では専門職の配置を進めるなど、新たな展開が示されています。こうした子ども施策が変化していく中で、これからの障害児通所支援の役割はどうあるべきなのか考えます。

また、今後の障害児入所のあり方に関する検討会が開催され、社会的養護の必要な障害のある子どもと家族の支援や在り方についても新たな方向が示されました。このような中、障害のある子どもがかげがえのない命として尊重され健やかに育っていけるよう、家族も安心できる質の高い支援体制をどのように構築すべきかについて様々な観点から議論を深めます。



プログラム

9:30	行政説明 「これからの障害児支援と令和9年度報酬改定について」 鈴木久也 子ども家庭庁支援局障害児支援課 課長補佐
10:25	講演 I 「障害児支援における人材育成に関する研修の目指すもの」 有村大士 日本社会事業大学社会福祉学部 教授/ 障害児支援における人材育成に関する検討会 座長
11:25	講演 II 「今後の障害児入所施設の在り方に関する検討会と これからの方向性について」 田村和宏 立命館大学産業社会学部 教授/ 今後の障害児入所施設の在り方に関する検討会 副座長
12:30	昼休憩

13:30	シンポジウム 「障害のある子ども達への支援の新たな方向性と 私たちに求められること」 シンポジスト 安城一郎 大阪府・社会福祉法人向陽学園 理事長 新福麻由美 千葉県・社会福祉法人桐友学園 桐友学園 施設長 江戸卓郎 愛媛県・社会福祉法人福角会 児童発達支援センターくるみ園 園長 鈴木久也 子ども家庭庁支援局障害児支援課 課長補佐 岡崎俊彦 子ども家庭庁支援局障害児支援課 移行支援専門官 助言者 田村和宏 立命館大学産業社会学部 教授/ 今後の障害児入所施設の在り方に関する検討会 副座長 栗原正明 子ども家庭庁成育局保育政策課 課長 進行 北川聡子 児童発達支援部会/ 北海道・社会福祉法人麦の子会 理事長
15:00	

(敬称略)

お申し込みから参加までのご案内

令和8年度全国知的障害関係施設長等会議は、名鉄観光サービス株式会社MICEセンターが運営する本会議専用特設サイトにて参加申込を受け付けます。下記URLにアクセスし、必要事項を入力しお申し込みください。

なお、今年度の本会議は、対面集合のみでの開催となります。参加を希望される方は、内容・参加費・お申込み受付期間などをご確認いただき、期間内にお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

参加申込特設サイト

<https://www.mwt-mice.com/events/aigo-2026>

会期

2026年7月9日(木)～10日(金)

会場

東京国際フォーラム ホールA他(東京都千代田区丸の内3-5-1)

参加費(税10%込み)

会員:25,000円/一般:38,000円

受付期間:

会員:2026年5月12日(火)～6月24日(水)正午

一般:2026年6月1日(月)～6月24日(水)正午

※受付期間後のお申込み・参加取消は一切お受けできません。期間内にお申し込みを確定ください。
※受付期間内であれば申込サイト内で参加取消が可能です。(請求書ダウンロード以後はご自身で取消操作ができませんので、お問い合わせフォームより名鉄観光サービス株式会社へご連絡ください。)

お申し込み・請求書発行の手順

- ①参加申込特設サイト <https://www.mwt-mice.com/events/aigo-2026> にアクセス
- ②「新規お申し込みはこちら」をクリックし、「個人情報の取り扱いについて」を確認
- ③「お申し込み連絡担当者情報入力画面」より入力フォームに従って必要な情報を入力
- ④入力内容を確認し、参加登録
- ⑤マイページ内の「お支払い」タブから、画面下部の「次へ進む」をクリックし、「請求書発行」から請求書をダウンロード

登録には「施設コード」(6桁の数字)が必要です。
本要綱の送付封筒の宛名シールや本会の施設・事業所名簿でコードをご確認ください。

6月26日(金)までに参加費をご入金ください

**「参加券」を、6月29日(月)以降に
名鉄観光サービスの特設サイトのマイページよりダウンロード**

- ・参加券は、参加者ご自身で本会議当日までにマイページよりダウンロードいただき、A4サイズにて片面ずつ印刷し、ご持参ください。
- ・参加券は当日受付にて提出いただきます。

東京国際フォーラムで会議に参加(7月9(木)～10日(金))

- マイページよりダウンロード・A4(片面)に印刷した参加券を受付にご提示ください。
- 参加券と引き換えに受付にて資料を配布します。
- 欠席者には後日資料を送付します。

参加申し込みに関するお問い合わせ

名鉄観光サービス株式会社 MICEセンター

令和8年度 全国知的障害関係施設長等会議申込受付係

TEL:03-3595-1121

受付時間 10:00～17:00(土・日・祝日は休業) 担当:木村・波多野・能勢



会議内容に関するお問い合わせ(開催事務局)

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会

全国知的障害関係施設長等会議担当:柘植・水内

TEL:03-3438-0466(代表)